

# 生ごみ収集で 焼却費の削減は？

町長

## 費用対効果に疑問がある



野口 昌作 議員



集められた可燃ごみ

【野口】施政方針で、ごみ減量化が掲げてある。水分を多く含む生ごみの堆肥化をはかり、焼却費の削減を考えないか。

【町長】県下で数市町が民間の事業者と取り組んでいる。しかし、減量実績は1%程度にもかかわらず、収集運搬経費が数百万円増とあり、費用対効果に疑問がある。

電気式生ごみ処理機の活用や水切りの徹底など呼びかけたい。

# 旧保育所の利用は？

町長

## 地域の利用を期待する

【野口】保育所が閉鎖されて、地域の活力が低下しつつあるが、地域に手を差し伸べて活性化をはかることが喫緊の課題である。

大山地区では、公民館活動によって、地域に根差した活動が積極的にに行われている。

地域と歩む公民館機能と地域活性化の拠点機能をあわせ持つ施設として、旧保育所を利用できないか。

【町長】平成26年度は2名の集落支援員を地域自主組織のある高麗地区と逢坂地区に配置する。

高麗地区は公民館活動と旧保育所を利用する地域自主組織の活動が連携した大山地区のモデルとして、逢坂地区も中山・名和地区のモデルとして支援する。

【教育委員長】公民館活動は分館がある大山地区に比べ、中山・名和は小さな単位での取り組みが少ない。

旧保育所を利用したそれぞれの地域の活動が、分館的存在になればと期待している。



地域自主組織に隣接する高麗分館